

九州地方火山情報アドバイザー会議（臨時会） 議事要旨

1. 開催概要

日 時 : 令和7年7月16日（水）10:00～12:06
会議形式 : オンライン
担当官署 : 福岡管区気象台及び鹿児島地方気象台
事務局 : 気象庁地震火山部火山監視課

2. 議事概要

霧島山（新燃岳）の火山活動の状況について、噴火シナリオに沿ったものであるとの考えや噴火警戒レベルの運用について、特段の意見はなかった。主な意見は以下のとおり。

- 霧島山（新燃岳）の活動状況等について
 - 現在の活動での地殻変動について、過去の噴火との比較にあたっては、膨張の開始時期を精査して比較する必要があるのではないか。
 - 6月23日の観測では火山ガスの放出量が急増しており、初期からマグマが関与し、7月2日の噴出物にもそれが表れたのではないかと。
 - 2011年及び2017～2018年のマグマ噴火と同じ推移をたどるかの判断は、現時点では難しい。
 - 今後の火山活動の推移の判断にあたっては、火山ガスの放出量や地殻変動の膨張レートに着目すべき。
- 霧島山（新燃岳）の情報発表等について
 - マグマ噴火の可能性を事前に判断することができれば、わかりやすい表現で注意喚起することが望ましい。
 - 気象庁の発表する情報の中でも火山ガスに係る記載の検討をすべき。
 - 噴火に関する火山観測報において“噴火したもよう”や“不明”といった記述が多いが、何らかの改善はできないか。

3. 出席委員等

(九州地方委員)

大倉 敬宏 京都大学 大学院理学研究科 教授
為栗 健 京都大学 防災研究所 准教授
中道 治久 京都大学 防災研究所 教授

(各地方共通委員)

石塚 吉浩 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 研究部門長
上田 英樹 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 巨大地変災害研究領域 地震津波火山観測研究センター 火山観測管理室長
宗包 浩志 国土地理院 地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室長

(気象庁参与)

鍵山 恒臣 京都大学 名誉教授
篠原 宏志 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 招聘研究員

(気象庁)

加藤 孝志 地震火山部長
菅野 智之 地震火山部 管理課長
相澤 幸治 地震火山部 管理課 火山対策企画官
平 祐太郎 地震火山部 火山監視課長
碓井 勇二 地震火山部 火山監視課 火山活動評価解析官
福満 修一郎 福岡管区气象台 気象防災部 火山対策調整官
小窪 則夫 福岡管区气象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター所長
中橋 正樹 福岡管区气象台 気象防災部 地震火山課 火山活動評価官
安藤 忍 鹿児島地方气象台 地震津波火山防災情報調整官

敬称略